俺を で海 そ汐沖 2. んなおやじがのにおいが h つ 苦労 育 か らやじがいとをしいらいがはだ身にしてのシラガも増えて た 海 は おや \mathcal{O}

た

シブキ 今は 3 つ 静かな海も こ、 度荒 \exists 漁師に う今は ぐすを左で艪こぎ たら岩をも たえ にえて来た。 砕 に

空 **つ** グ道雲が の ヨ つ い か 了 空 以 時 に \exists はたえて行 んは | | | | | 61 るお おやじ べ道雲を や じ の \mathcal{O} 顔 苦 労

つ か \exists 海

おやじの海だ 神で苦労の だ

汐 シ ラ ガ も お 増 え か

けんをおいれるとなっていとをおりません。

た

2.

今 静かな海もヨ はヨ 〜今はヨ

シ 度荒 ブキ立ち込め打ち れたら岩をも砕

寄す波に

— 艪こぎ てぐすを

たえて来たつらい漁師に

3/3

一 の ヨ

おや 人道雲がヨ 顔

5 時 人道雲を

つ に 5

はたえ

End